

パブリックコメントの内容および市の検討結果～公共施設の適正配置等に関する基本計画(素案)～

意見概要		市の検討結果
図書館		
027	図書館は、人口や面積に比例して設置されるべき施設であり、合併に伴う重複という概念は当てはまらない。	本計画において、図書館の現在の配置状況について「重複」があるとの認識を示している部分はありません。
028	中央図書館について、交通の便が比較的悪い位置にある市民会館との合築・複合化には反対であり、現在地での建替えをしてほしい。	本計画で検討の選択肢として挙げている市民会館との合築・複合化は、現在の市民会館の立地のみを念頭に置いているわけではありません。
	【2件】	
029	中央図書館は建替え等の対応策が求められている。市民会館との合築・複合化による対応は時宜にかなっており、早期の実現が期待される。限られたスペースを有効に使うため、建物の高層化が望まれている。	今後、本計画に基づき、個別課題の具体的な検討を進めていく中で、いただいたご意見も参考とさせていただきます。
030	図書館は、各館とも面積が少なく、特に中央図書館の蔵書保存機能は弱いので、対策を講じてもらいたい。	ご指摘いただいた点は、市としても課題として認識していることから、本計画にも対策の必要性を記載しているところです。
031	芝久保図書館の開架スペース等を縮小して蔵書庫機能に転換することには反対である。	中央図書館の機能拡充をはじめ、図書館ネットワーク全体のサービス向上に対する期待に応えていくためには、蔵書庫機能の確保が必要であり、他の施設からの転用や新設による対応が難しい場合には、現在の図書館施設のいずれかで対応するほかないことから、芝久保図書館の見直し案も選択肢の一つとして検討することとしています。
032	下保谷図書館は、地域の親たちが子育てのためにと運動し、要望して作ったものだが、保谷駅前図書館に移転したことにより、子供達が利用しづらくなり、利用対象者が変わってしまった。今は苦肉の策で団体貸出を利用している。市民の意見を聴いていない結果である。 保谷駅前図書館の開館に当たって下保谷図書館を閉館した経緯があるが、距離が近くても駅を越えることは子どもや障害者、高齢者にとって大きな問題である。	保谷駅前図書館は、貸出者数が以前の下保谷図書館に比べ4倍となっており、特に、30～50歳代の勤労者が新しい利用者層として急増しています。高齢者や子供達へのサービスについては、下保谷福祉会館・下保谷児童センターと協力し、おはなし会や団体貸出等を支援します。
033	現在ある図書館の拡充や、新たな図書館の建設も検討してほしい。 【2件】 市内4駅のうち図書館がないのは東伏見だけであり、設置してもらいたい。 【2件】	本市の厳しい財政状況を考慮すると、他の施策分野におけるニーズにも応えながら、図書館の新設を行うことは困難と考えています。既存図書館の拡充については、蔵書庫機能を別途確保することにより、開架スペース等の拡充を図ることも含めて、今後、本計画に基づき、具体的な検討を進めていきます、
034	図書館については、個人情報を守守する必要があり、安易に他の目的に転用することや指定管理等にはなじまない。	本計画において、図書館を他の目的への転用を検討する等の記載はありません。今後、いただいたご意見も参考としながら、図書館の運営のあり方についても検討していきます。
035	図書館は、単に本を借りに行く場ではなく、多くの本に囲まれた空間で過ごす時間そのものを保障する場である。また、レファレンスサービスの充実も大事なことである。そうした図書館本来のあり方を失わない配置が必要である。	図書館のレファレンスサービスの充実の必要性は、市としても認識しているところであり、ＩＣタグシステムを活用した貸出・返却の自動化を進めることで、図書館職員がレファレンスサービスに重きを置いて対応できるよう努力してきたところです。今後も、本計画にも記載したとおり、レファレンスサービスをはじめとして、図書館ネットワーク全体のサービス向上に努めていきます。
036	予約棚システムについて、予約者ごとにまとめて取り置くよう改善してほしい。	今後、本計画に基づき、予約棚システムの効果を検証する際に、ご指摘の内容についても留意いたします。
037	各図書館に特色があるのは良いが、各館共通で置いてほしいものもあるので、見直しをしてほしい。	各図書館の蔵書構成については、予算・場所・利用者層等に配慮して検討・決定しています。今後の見直しの際に、いただいたご意見も参考とさせていただきます。
038	西東京市の図書館は、施設数も多く利便性も良い点で、市民の期待に応えていると思うが、スペースが狭く、蔵書数も多くないなど、改善すべき点もある。学習テーブルの設置や読書スペースの確保など、一層の配慮が期待される。	図書館については、本計画にも記載した蔵書数の課題を含め、改善の余地のある部分はまだあるものと認識しています。今後、本計画に基づく取組等を通じて、図書館ネットワーク全体のサービス向上に努めていきます。